

一液弱溶剤形特殊樹脂塗料

一液マイルドシリコン ウレタン ★★★★



セラミック配合
(一液マイルドシリコン)

一液タイプ

超耐久・高耐久
低汚染

付着性

防かび・防藻性

作業性

環境対応

経済性

幅広い下地適用性

二液から一液へ・・・より

セラミック配合 耐候形1種*

一液弱溶剤形
特殊アクリルシリコン樹脂塗料

一液マイルドシリコン[®]

一液弱溶剤形
特殊ポリウレタン樹脂塗料

一液マイルドウレタン[®]

※耐候形については、JIS A 6909の耐候性B法に基づき、当社にて実施した試験結果によるものであり、耐候形の区分によるJISの適用申請は行っておりません。

特長

一液タイプ

独自の一液架橋技術により、わずらわしい主剤と硬化剤との調合が不要となりました。現場での材料管理が簡単で、残材の低減にもつながります。

超耐久／高耐久・低汚染

シロキサン結合を有する一液マイルドシリコンは超耐久性を、ウレタン架橋を有する一液マイルドウレタンは高耐久性を示すと同時に、どちらも耐水、耐アルカリ性、耐薬品性に優れています。また、汎用タイプの塗料と比較して、汚れにくい塗膜構造を実現しました。

付着性

下地との付着性に優れ、長期に亘り強固に密着します。

作業性

強溶剤形の塗料に比べて臭気が少なく、作業環境の改善に役立ちます。また、ローラー、刷毛、スプレーガンのいずれの塗装器具でも施工できます。

防かび・防藻性

特殊設計により、かびや藻類などの微生物に対して強い抵抗性を示し、長期に亘り衛生的な環境を維持します。

環境対応

重金属類（鉛、クロム）や有害なイソシアネートなどを配合していない安全設計です。

経済性

一液タイプのため、大幅な作業効率の改善につながります。また、長期間の耐久性に優れているためLCC（ライフサイクルコスト）の観点から経済的です。

幅広い下地適用性

弱溶剤（塗料用シンナー）で希釈する材料のため、塗り替えでは各種旧塗膜に幅広く施工できます。

使いやすくなりました。

一液マイルドシリコン&ウレタンは独自の架橋技術により、一液タイプでありながら二液タイプに匹敵する性能を維持すると共に、弱溶剤の塗料用シンナーを使用する環境に優しい一液弱溶剤形特殊塗料です。

二液タイプのわずらわしい調合作業や残材の処理が軽減できるなど非常に扱いやすく、また、重金属類（鉛、クロム）や有害なイソシアネートなどを配合しておらず、環境保全に貢献できると共に、改装では旧塗膜の種類を問わず、幅広い下地適用性を示すなど、多目的用途にご使用いただけます。

使用できる旧塗膜の種類（注：活膜は目粗しが必要です）

| 分類 | 種類 | 分類 | 種類 |
|------------------|-----------|-------------|------------|
| 一般外壁 | アクリルリシン | 鉄部 | 合成樹脂調合ペイント |
| | アクリルスキン | | フタル酸樹脂系 |
| | アクリルタイル | | エポキシ樹脂系 |
| | エポキシタイルRE | | ポリウレタン樹脂系 |
| | エポキシタイルRS | | 塩化ビニル樹脂系 |
| | 複層弾性塗材 | | 塩化ゴム系 |
| | 単層弾性塗材 | ポリエステル樹脂系 | |
| | アクリルスタッコ | メラミンアルキド樹脂系 | |
| | セメントスタッコ | 木部 | 合成樹脂調合ペイント |
| | 上塗り | | アクリル樹脂系 |
| | | ポリウレタン樹脂系 | FRP |
| 塩化ビニル樹脂系 | | | |
| アクリル樹脂エマルジョン系 | | | |
| 非水系塗料（ポリウレタン樹脂系） | | | |

※旧塗膜が弱溶剤で可溶するタイプのものは、下塗り、上塗りを施工後、リフティングを生じる危険性がありますので、避けてください。



一般外壁（マンション）



一般外壁（戸建て）



鉄部



木部

用途

一般内外壁、各種金属部材など

適用下地

- ・コンクリート、セメントモルタル、ALCパネル、スレート板、サイディングボード、木部、各種旧塗膜（活膜）など

※下地の種類により適切な下塗材を選択してください。

- ・鉄部、亜鉛めっき鋼、アルミニウム、ステンレスなどの金属

※事前にクロスカット試験などで付着強度を確認してください。

※旧塗膜の状態や種類によって、付着力が得られなかったり、溶解することがあります。事前に試験塗りをを行い、付着力や溶解性の確認を行なってください。

※劣化状況に応じて適正な表面処理が必要です。

性能試験成績書

●一液マイルドシリコン JASS 18(2006) M-404 アクリルシリコン樹脂塗料に準じた物性結果

| 項目 | 結果 | 規定 |
|--------------|----|--|
| 乾燥時間 (hr) | 合格 | 8以内 |
| 塗膜の外観 | 合格 | 塗膜の外観が正常であるものとする。 |
| 鏡面光沢度 (60度) | 87 | 70以上 |
| 耐衝撃性 (デュボン式) | 合格 | おもりの衝撃で塗膜に割れおよびはがれが生じてはならない。 |
| 促進耐候性 | 合格 | 照射時間2500時間で、塗膜に割れ・はがれ・ふくれがなく、光沢保持率は80%以上で、色の変化の程度が見本品に比べ大きくなく、白垂化の等級が1以下とする。 |

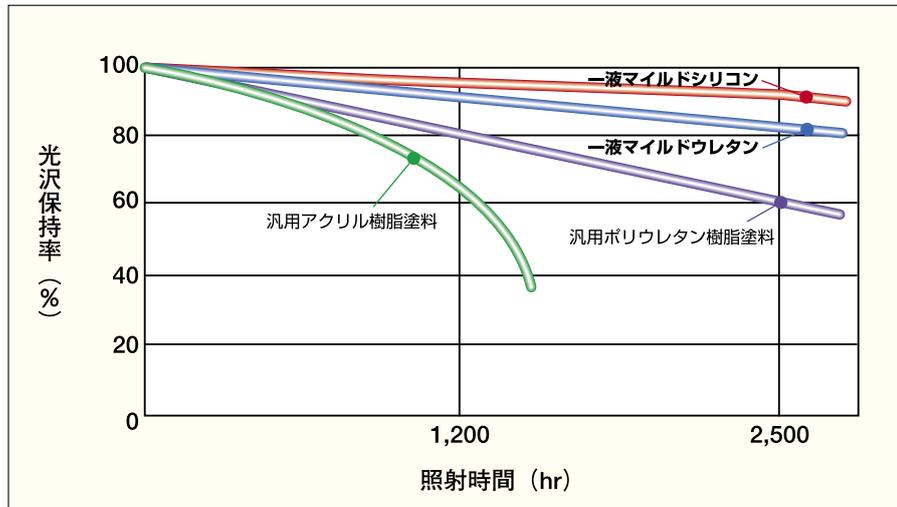
※ 1 JASS 18 (2006) M-404は日本建築学会材料規格です。

※ 2 この試験結果は艶有りのものです。

●一液マイルドウレタン JASS 18(2006) M-406 弱溶剤系2液形ポリウレタンエナメルに準じた物性結果

| 項目 | 結果 | 規定 |
|-------------|------|--|
| 乾燥時間 (hr) | 標準状態 | 合格 8以内 |
| | 5℃ | 合格 16以内 |
| 塗膜の外観 | 合格 | 塗膜の外観が正常であるものとする。 |
| 鏡面光沢度 (60度) | 86 | 80以上 |
| 耐衝撃性 | 合格 | おもりの衝撃で塗膜に割れおよびはがれが生じてはならない。 |
| 重ね塗り適合性 | 合格 | 重ね塗りに支障がないものとする。 |
| 耐湿潤冷熱繰返し性 | 合格 | 湿潤冷熱繰返しに耐えるものとする。 |
| 促進耐候性 | 合格 | 照射時間500時間で、塗膜に割れ・はがれ・ふくれがなく、光沢保持率は70%以上で、色の変化の程度が見本品に比べて大きくなく、白垂化の等級が1以下とする。 |

促進耐候性試験 (キセノンランプ)



荷 姿

| 商品名 | 荷姿 (標準塗坪) |
|----------------------------------|---|
| ★一液マイルドシリコン (3分艶、5分艶、7分艶、艶有り) | 15kg石油缶 (42~53㎡/缶) (鉄部は57~68㎡/缶) 4kg缶 (11~14㎡/缶) (鉄部は15~18㎡/缶) |
| ★一液マイルドウレタン (3分艶、5分艶、7分艶、艶有り) | 15kg石油缶 (42~53㎡/缶) (鉄部は57~68㎡/缶) 4kg缶 (11~14㎡/缶) (鉄部は15~18㎡/缶) |

注) 上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

| 商品名 | 荷姿 (標準塗坪) |
|-----------------------------|--|
| 水性ソフトサーフSG | 16kg石油缶 (10~53㎡/缶) |
| ★マイルドSDサーフエポ | 15kg (38~75㎡/缶) |
| ★マイルドシーラーEPO (クリアー・ホワイト) | 14kgセット (70~140㎡/セット) (主剤10.5kg石油缶、硬化剤3.5kg缶) |
| ★マイルドサビガード | 16kg石油缶 (100~123㎡/缶) 4kg缶 (25~30㎡/缶) |
| ★塗料用シンナーA | 16L石油缶 |

「一液マイルドシリコン」「一液マイルドウレタン」「マイルドサビガード」及び「マイルド」はエスケー化研(株)の登録商標です。



危険情報と安全対策

製品の取り扱いには、それぞれの安全データシート (SDS) に従ってください。

特に★印のついている製品は溶剤形の製品であるため、下記の点にご注意ください。

1. 引火性の液体のため、火気厳禁です。
2. 有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは、送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないよう十分に注意してください。

※屋内塗装等、施工環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

標準施工仕様 (改装下地)

●外壁(改装)／上塗りの塗り替えの場合

(20℃, 65%RH)

| 工程 | 材料 | 調合 (重量比) | 所要量 (kg/m ²) | 塗回数 | 間隔時間 (hr) | | | 備考 |
|--------------|--|--------------------|-----------------------------|-----|-------------|-----|------|--|
| | | | | | 工程内 | 工程間 | 最終養生 | |
| #1,2 下地調整 | ●旧塗膜に脆弱層のある場合は、サンダー及び皮スキ、ケレン棒などを用いて除去し、ミラクファンドKC-1000で段差修正後、パターンの復元を行ってください。 ●高圧洗浄 (5~15MPa) にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。 | | | | | | | |
| 1 上塗り | 一液マイルドシリコン / 一液マイルドウレタン | 100 | 0.30~0.35 | 2 | 3以上 48以内 | - | 24以上 | ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm |
| | 塗料用シンナー A | 0~20 ^{*6} | - | | | | | |

●外壁(改装)／窯業系サイディングボードの場合

注：光触媒や親水性タイプの表面コーティング、無機系コーティング材または
ふっ素樹脂クリアーが塗装されているサイディングには適用できません。(20℃, 65%RH)

| 素地調整 | | ●劣化した塗膜は除去してください。 ●高圧水洗 (5~15Mpa) にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを水洗にて除去してください。 ●劣化した目地材は除去した後、シーリング材による打ち替えを行ってください。 | | | | | | | |
|----------|----------------------------|--|-----------|---|-------------|-------------|------|--|--|
| 1 下塗り | マイルドSDサーフェコ | 100 | 0.20~0.40 | 1 | - | 3以上 7日以内 | - | ローラー、刷毛 エアレススプレーガン | |
| | 塗料用シンナー A | 0~20 ^{*6} | - | | | | | | |
| 2 上塗り | 一液マイルドシリコン / 一液マイルドウレタン | 100 | 0.28~0.32 | 2 | 3以上 48以内 | - | 24以上 | ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm | |
| | 塗料用シンナー A | 0~20 ^{*6} | - | | | | | | |

●外壁(改装)／SG工法

注：旧塗膜は活膜であることを想定しています。

(20℃, 65%RH)

| 素地調整 | | ●旧塗膜に脆弱層のある場合は、サンダー及び皮スキ、ケレン棒などを用いて除去し、ミラクファンドKC-1000で段差修正後、パターンの復元を行ってください。 ●セメント系下地調整塗材 (ミラクファンドKC-1000、ミラクファンドKC-2000、ミラクファンドKC-3000など) を用いる場合は、下地調整後、水性ミラクシーラーエコなどの下塗材を塗布してください。 ●高圧洗浄 (5~15MPa) にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。 | | | | | | | |
|---------------------------|----------------------------|---|-----------|-----|-------------|------|------|--|---|
| 1 下塗り (薄付け 仕上げ) | 水性ソフトサーフェSG | 100 | 0.30~1.0 | 1~2 | 3以上 | 16以上 | - | W-2ローラー(ワールローラー)、 SPローラー(マッシュックローラー) 刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800~1000ml/分 パターン幅:25~30cm リジソグ 口径:4~5mm 圧力:392~588kPa | |
| | 清 | 水 | 5~8 | | | | | | - |
| 1' 下塗り (厚付け 仕上げ) | 水性ソフトサーフェSG | 100 | 0.8~1.5 | 1~2 | 3以上 | 16以上 | - | M-9ローラー (マッシュックローラー) | |
| | 清 | 水 | 2~5 | | | | | | - |
| 2 上塗り | 一液マイルドシリコン / 一液マイルドウレタン | 100 | 0.30~0.35 | 2 | 3以上 48以内 | - | 24以上 | ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800~1000ml/分 パターン幅:25~30cm | |
| | 塗料用シンナー A | 0~20 ^{*6} | - | | | | | | |

注) 使用する器具により塗り回数や所要量が異なる場合があります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

●鉄部 (改装)

(20℃, 65%RH)

| 素地調整 | | ●被塗装面のミルスケール、ほこり、油脂分、水分などを除去し、清浄にしてください。 ●さびや浮き塗膜、粉化物はサンドペーパーやディスクサンダーなどで十分に除去してください。 | | | | | | | |
|----------|----------------------------|--|-----------|---|-------------|--------------|------|--|--|
| 1 下塗り | マイルドサビガード | 100 | 0.13~0.16 | 1 | - | 3以上 1ヶ月以内 | - | ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm | |
| | 塗料用シンナー A | 5~15 ^{*3} | - | | | | | | |
| 2 上塗り | 一液マイルドシリコン / 一液マイルドウレタン | 100 | 0.22~0.26 | 2 | 3以上 48以内 | - | 24以上 | ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm | |
| | 塗料用シンナー A | 0~20 ^{*6} | - | | | | | | |

●木部 (改装)

(20℃, 65%RH)

| 素地調整 | | ●ケレンや水洗いにより、汚れなどは除去してください。 ●水分・油脂分などの残存は付着物低下の原因になりますので、溶剤で除去し、十分に乾燥させてください。 | | | | | | | |
|----------|----------------------------|---|-----------|---|-------------|---|------|--|--|
| 1 上塗り | 一液マイルドシリコン / 一液マイルドウレタン | 100 | 0.22~0.26 | 2 | 3以上 48以内 | - | 24以上 | ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm | |
| | 塗料用シンナー A | 0~20 ^{*6} | - | | | | | | |

※ 1 下地の状況によりシーラーや表面の目直しが必要な場合があります。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

※ 2 かびや藻が発生している場合は、「SKKカビ除去剤 #5 (塩素系)」にて拭き取ってください。

※ 3 ★マイルドサビガードの★塗料用シンナーAでの希釈率は、スプレー塗り時で「10~15」、刷毛・ローラー塗り時で「5~10」となります。

※ 4 ★マイルドサビガードを使用した塗装機器はラッカーシンナーなどで洗浄してください。

※ 5 下塗りにはその他、★エポサビマイルド (16kg石油缶、4kg缶) もご使用いただけます。

※ 6 ★マイルドSDサーフェコ、★一液マイルドシリコン、★一液マイルドウレタンの★塗料用シンナーAでの希釈率は、スプレー塗り時で「10~20」、刷毛・ローラー塗り時で「10~10」となります。

※ 7 材料の希釈には必ず★塗料用シンナーAを使用し、他の材料の使用は避けてください。

※ 8 希釈すぎますと光沢に影響を与えますので、シンナー希釈率及び所要量を厳守してください。

※ 9 粒度の粗いさび止め塗料が塗付されている場合は、光沢が落ちることがあります。その場合、シンナーの希釈率を少なくし、塗布してください。

※ 10 上塗材の希釈率は試験塗りなどにより決定し、それ以降は同一の希釈率にて使用してください。なお、希釈率は色相及び施工時の気温により変化することがありますので、ご了承ください。

※ 11 艶調整品 (艶有り以外の7分艶、5分艶、3分艶など) は、被塗物の形状、膜厚や色目、塗り回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時に塗継ぎ箇所で艶ムラを生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入ってください。

標準施工仕様 (新規下地)

●外壁、平滑仕上げ

(20℃, 65%RH)

| 工程 | 材料 | 調合 (重量比) | 所要量 (kg/m ²) | 塗回数 | 間隔時間 (hr) | | | 備考 | |
|--|-----|----------------------------|-----------------------------|-----------|-----------|--------------|--------------|------|--|
| | | | | | 工程内 | 工程間 | 最終養生 | | |
| 素地調整 ※1 ●下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ●附着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修してください。 | | | | | | | | | |
| 1 | 下塗り | マイルドシーラー-EPOクリアー 主剤 | 100 | 0.10~0.20 | 1~2 | 3以上 | 6以上 14日以内 | - | ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm |
| | | マイルドシーラー-EPOクリアー 硬化剤 | 33.3 | | | | | | |
| 2 | 上塗り | 一液マイルドシリコン / 一液マイルドウレタン | 100 | 0.28~0.32 | 2 | 3以上 48日以内 | - | 24以上 | ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm |
| | | 塗料用シンナー A | 0~20 | ※7 | | | | | |

●外壁、複層塗材E仕上げ (硬質)

(20℃, 65%RH)

| | | | | | | | | | | |
|---|------|----------------------------|------|-----------|--------------------------------|--------------|------------------------------|------|--|---|
| 下地調整 ●下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ●附着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修してください。 | | | | | | | | | | |
| 1 | 下塗り | マイルドシーラー-EPOクリアー 主剤 | 100 | 0.10~0.20 | 1~2 | 3以上 | 6以上 14日以内 | - | ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm | |
| | | マイルドシーラー-EPOクリアー 硬化剤 | 33.3 | | | | | | | |
| 2 | 主材塗り | レナラック 主材 | 100 | 1.3~1.7 | 1~2 | 2以上 | 吹放し 16以上 凸部処理 0.5以内 | - | タイルガン 口径:6.5~10mm 圧力:392~588kPa (4~6kgf/cm ²) | |
| | | 清 水 | 0~5 | - | | | | | | |
| (3) 凸部処理 | | | | | プラスチックローラーに塗料用シンナーAを付けて凸部を押える。 | | - | 16以上 | - | - |
| 4 | 上塗り | 一液マイルドシリコン / 一液マイルドウレタン | 100 | 0.30~0.35 | 2 | 3以上 48日以内 | - | 24以上 | ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800~1000ml/分 パターン幅:25~30cm | |
| | | 塗料用シンナー A | 0~20 | ※7 | | | | | | - |

●鉄部

(20℃, 65%RH)

| | | | | | | | | | |
|---|-----|----------------------------|------|-----------|---|--------------|--------------|------|--|
| 素地調整 ●被塗表面のミルスケール、ほこり、油脂分、水分などを除去し、清浄にしてください。 ●さびや浮き塗膜、粉化物はサンドペーパーやディスクサンダーなどで十分に除去してください。 | | | | | | | | | |
| 1 | 下塗り | マイルドサビガード | 100 | 0.13~0.16 | 1 | - | 3以上 1ヶ月以内 | - | ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm |
| | | 塗料用シンナー A | 5~15 | ※4 | | | | | |
| 2 | 上塗り | 一液マイルドシリコン / 一液マイルドウレタン | 100 | 0.22~0.26 | 2 | 3以上 48日以内 | - | 24以上 | ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm |
| | | 塗料用シンナー A | 0~20 | ※7 | | | | | |

※1 下地は必ずペンキ下地と同程度に平滑にしておいてください。

※2 下塗りには、この他、白色タイプの★マイルドシーラー-EPOホワイト (14kgセット) もご使用いただけます。

※3 灯油など他の材料の使用は絶対に避けてください。

※4 ★マイルドサビガードの★塗料用シンナーAでの希釈率は、スプレー塗り時で「10~15」、刷毛・ローラー塗り時で「5~10」となります。

※5 ★マイルドサビガードを使用した塗装機器はラッカーシンナーなどで洗浄してください。

※6 下塗りにはこの他、★エボサビマイルド (16kg石油缶、4kg缶) もご使用いただけます。

※7 ★一液マイルドシリコン / ★一液マイルドウレタンの★塗料用シンナーAでの希釈率は、スプレー塗り時で「10~20」、ローラー・刷毛塗り時で「0~10」となります。

※8 材料の希釈には必ず★塗料用シンナーAを使用し、他の材料の使用は避けてください。

※9 希釈しすぎますと光沢に影響を与えますので、シンナー希釈率及び所要量を厳守してください。

※10 上塗材の希釈率は試験塗りなどにより決定し、それ以降は同一の希釈率にて使用してください。なお、希釈率は色相及び施工時の気温により変化することがありますので、ご了承ください。

※11 艶調整品 (艶有り以外の7分艶、5分艶、3分艶など) は、被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時に塗継ぎ箇所で艶ムラを生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入ってください。

■施工上の注意事項

<共通>

- ・気温5℃以下、湿度85%以上の時は、原則的に施工を避けてください。施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。
- ・施工当日に降雨、降雪、結露が予想される時は、施工を中止してください。また気象の急変などにより、施工中、施工後に降雨が生じた場合は、シート養生などを行い、塗装面に直接雨がつかないように、対策を講じてください。
- ・塗膜の膨れ、はく離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- ・防藻、防かび性は繁殖の抑制の効果を示すものです。すでにかびや藻が付着している場合は、これらを除去するなどの適切な下地処理をしてから塗装してください。
- ・塗り重ね時間は環境（温度、湿度、換気、風通しやすさ）や膜厚によって変わります。
- ・補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、若干の色相差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈量等を決定してください。
- ・刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りと仕上がり肌の違いによる若干の色相差を生じることがあります。
- ・異なる色相で塗り重ねる場合、2回目の上塗りが1回目の上塗りを溶かし、ラインや帯がにじむ場合がありますのでご注意ください。
- ・最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、はく離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
- ・二液反応硬化タイプの材料は、主剤と硬化剤を指定の比率で調合し、電動ミキサーで攪拌混合してご使用ください。特に小分けでご使用の場合は、計量器にて計量してください。混合後の材料は、缶の表示の可使用時間以内に使い切ってください。また、可使用時間は温度・希釈などの条件によって変わりますので、混合後はなるべく早く使い切ってください。
- ・上塗材は所定の乾燥時間(最終養生時間)を厳守してください。施工後、塗膜が乾燥するまでの時間内に降雨などにより、塗膜表面が長時間、水分がかかった状態になりますと、所定の低汚染機能が発揮されない場合があります。低汚染機能は乾燥後の塗膜で発揮されるため、乾燥過程で降雨などが予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に雨が当たらないよう、所定の乾燥時間を厳守してください。
- ・施工部位により、低汚染機能が十分に発揮されないケースがあります。特に傾斜壁の下部部、笠木など水切りのない部位、窓廻りで水切りが不十分な場合、雨がつかからない部位などは注意が必要です。
- ・上塗材はむらなく均一に塗付してください。低汚染機能を発揮するためには、塗付量の確保が重要な事項です。特に凹部に塗り残しができないよう、注意してください。
- ・鉄さび・シーリング材などが原因の汚染物質に対しては、低汚染機能が十分に発揮されません。
- ・上塗りの色目が原色に近い、イエロー、レッド、ブルー、グリーン系の場合は、隠ぺい性を高めるため、予め隠ぺい性の良い共色であらかじめ下塗塗装を行ってください。
- ・濃色や原色に近い色目の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがありますので、衣類などが触れる可能性のある部位への塗装は避けてください。
- ・ベンチやジャングルジムなどの遊具、テーブル、カウンター、棚、床など、物が常に置かれる箇所への塗装を避けてください。また、アルコールや油脂分（人の手など）が付着すると塗膜が軟化し、色移りすることがありますので、ご注意ください。
- ・★マイルドサビガード、★一液マイルドウレタン、★一液マイルドシリコンでは、スプレーダストや製品の付着した布、紙、ローラーなどが積み重なると自然発火する恐れがあるため、廃棄するまで水に漬けるなどして安全に保管してください。
- ・既存塗膜の剥離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- ・改装工事に溶剤系の材料を使用する場合、溶剤などの影響により旧塗膜を侵し、リフティングが発生することがあります。試し塗りにより確認の上、本施工に入ってください。
- ・間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
- ・シーリング材の上に直接施工する場合、シーリング材の種類や材齢により塗膜が密着しないことがあります。また、シーリング材との取り合いの関係で塗膜表面にシーリング材の成分（シリコンオイル）が付着することにより、表面が汚染される場合があります。施工の際には、シーリング材の取り扱いに注意してください。詳しくはもよりの各営業所にお問い合わせください。
- ・ゴムやプラスチック等、可塑性を含む部位に直接触れると軟化や剥離を生じることがありますので、そのような場所への塗装は避けてください。
- ・冬期または多湿な場合には、乾燥が遅くなります。通風をよくし、十分に乾燥養生を行ってください。
- ・陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異常を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
- ・材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、使用前に電動ミキサーなどで内容物が均一になるように十分に攪拌してください。
- ・公共建築工事標準仕様（新築・改修）につきましては、最寄りの営業所へお問い合わせください。
- ・その他、詳しい施工要領については、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

<外壁>

- ・弾性系塗材や複層仕上塗材の仕様で、軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型業業形サイディング及び発泡ウレタンなどを用いた高断熱型外壁に塗装する場合は、蓄熱されたり、水の影響や下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なることで、パネルの変形や塗膜のふくれ、はがれなどを生じることがあります。ご採用に当たっては、最寄りの各営業所にご相談ください。
- ・ALCパネル、多孔質下地、粗面、その他下地に問題がある場合には、カケンファイラー（粉体20kg袋、混和液10kg石油缶）、ミラクファンドKC-1000（粉体20kg袋、混和液5kgポリ容器）などで下地調整を行ってください。なお、改装工事にはミラクファンド各種をご使用ください。
- ・吸い込みが大きい下地、部分的に下地調整を行った面が他の面と比べ著しい吸い込み差を生じる下地、改装下地、けい酸カルシウム板、せっこうボード、スレート板、合板などの下地、あく発生のある下地の場合には、適切な下塗材の選択が必要です。なお、押出成形セメント板、GRC板、PC部材などには下塗材として★マイルドシーラー-EPO（クリアー・ホワイト、14kgセット）をご使用ください。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。また、軽量PC部材への施工は避けてください。

<鉄部>

- ・素地調整は、さび止め塗装工事の耐久性を高める重要な工程となりますので、入念な処理を行ってください。
- ・さびの著しい部位は、ケレン後、補修塗りを行ってください。また、作業環境や形状によって、さびを完全に除去できない部位には、予め★サビフィックス（18kgセット、4.5kgセット）で補修塗りを行ってください。
- ・さび止め塗料の防食性は膜厚に比例します。R部やエッジ部など、膜厚が得られにくい箇所は、増し塗りするなどして、十分な膜厚を確保してください。



本社 大阪府茨木市中穂橋3-5-25 ☎072-621-7733
東京支社 東京都新宿区高田馬場1-31-18 ☎03-3204-6601 国際事業本部 ☎072-621-7727

札幌支店 ☎011-784-4000 千葉支店 ☎043-304-0411 名古屋支店 ☎052-561-7712 神戸支店 ☎078-671-0451
仙台支店 ☎022-259-2431 埼玉支店 ☎048-686-2391 京都支店 ☎075-846-3967 広島支店 ☎082-278-4951
東京支店 ☎03-3204-6601 横浜支店 ☎045-820-2400 大阪支店 ☎072-621-7721 福岡支店 ☎092-629-3427

旭川営業所 ☎0166-51-8094 宇都宮営業所 ☎028-633-9721 厚木営業所 ☎046-294-9666 大宮営業所 ☎042-621-7747 福岡営業所 ☎092-622-5561
仙台営業所 ☎022-259-2431 船橋第二営業所 ☎03-3204-6601 静岡営業所 ☎054-284-1877 南大宮営業所 ☎072-253-1910 福岡営業所 ☎092-622-5562
青森営業所 ☎017-752-3855 東京営業所 ☎03-3204-6602 浜松営業所 ☎053-462-7021 神戸営業所 ☎078-671-0451 大分出張所 ☎097-523-2861
盛岡営業所 ☎019-654-8360 千葉営業所 ☎043-304-0413 三河営業所 ☎0564-28-1614 姫路出張所 ☎079-281-5311 長崎営業所 ☎095-687-0871
郡山営業所 ☎024-962-7673 埼玉営業所 ☎048-686-2391 北陸営業所 ☎076-266-1041 岡山営業所 ☎086-242-5520 熊本営業所 ☎096-344-5690
新潟営業所 ☎025-285-6551 埼玉営業所 ☎048-686-1586 名古屋営業所 ☎052-561-7712 広島営業所 ☎082-278-4951 鹿児島営業所 ☎099-284-5321
前橋営業所 ☎027-265-4100 城東営業所 ☎03-3677-7770 北陸営業所 ☎052-561-7712 山口営業所 ☎083-924-7575 宮崎出張所 ☎0985-61-7779
長野営業所 ☎026-239-6210 三多摩営業所 ☎042-564-5806 岐阜営業所 ☎058-273-1981 高松営業所 ☎087-865-5411 沖縄営業所 ☎098-662-5041
水戸営業所 ☎0263-24-2677 横浜営業所 ☎045-820-2400 三重営業所 ☎059-236-5101 松山出張所 ☎089-868-7240
神戸営業所 ☎029-251-6515 横浜営業所 ☎045-820-5525 大阪営業所 ☎072-621-7722 九州営業所 ☎093-621-8505

大粒根工場・埼玉工場・神奈川工場・名古屋工場・大阪工場・兵庫工場・九州工場

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

URL <http://www.sk-kaken.co.jp>

特約販売店